

4 キャリア教育

(1) キャリア教育推進協議会の設置(6月)及び「長野県キャリア教育ガイドライン」の策定(11月)

ア 趣旨

本県におけるキャリア教育の在り方及び小学校・中学校・高等学校における一貫した系統的・体系的キャリア教育の在り方について議論し、「長野県キャリア教育ガイドライン」を策定して各校のカリキュラムに反映させるため。

(4回の推進会議を持ち、パブリックコメントを実施)

イ 委員

伊澤 宏爾	飯田市教育委員会 教育長
糸井 重夫 <座長>	松本大学松商短期大学部 教授
伊藤 かおる	コミュニケーションズ・アイ 社長
久保 正直	アスザック株式会社 社長
栗原 満	中野市教育委員会 教育長
玉井 康子	長野県若年者就業サポートセンター長野分室 アドバイザー
直井 良一	元信州ハム株式会社 常務取締役
藤澤 令子	長野県経営者協会 教育指導部 課長
伏木 久始	信州大学教育学部 准教授
三木 正夫	須坂市長
和田 晶宜	長野ダイハツモータース 社長

(2) 「ずく出せ修行」就業体験

実施校 85校(全県立高校) 実施生徒数 5,680名

(3) 産学官連携キャリア教育推進事業

平成20年度から平成22年度まで実施した「未来塾ながの」の趣旨を踏まえ実施

第1回 10月22日 信濃毎日新聞社長野本社(長野市)

社長講演、新聞記者との交流、新聞づくり

第2回 12月17日 (株)フォレストコーポレーション(伊那市)

社長講演、社員との交流・ディスカッション

第3回 2月11日 松本市中央公民館(松本市)

松本山雅社長講演、山雅関係者との交流・ディスカッション

5 進路指導

(1) 中・高の連携

中学校生徒の高等学校体験入学等の実施

県立 86 校 市立 1 校 計 87 校で実施

参加者数

中学生 30,942 人、中学校教職員 1,509 人、保護者 4,465 人、合計 36,916 人

(2) 研究協議会の開催

「進路指導等研究協議会」の開催（高校）

6 教科書採択

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、教科用図書選定審議会及び調査員会を設置し、小学校用教科用図書及び小・中学校の特別支援学級用の教科用図書（学校教育法附則第9条による一般図書を含む）を専門的に調査研究し、その結果を「教科用図書の採択に関する選定資料」として市町村教育委員会等へ配布するとともに、教科用図書の採択について指導・助言を行った。

特別支援学校の教科用図書の採択については、県教育委員会が児童生徒の障害の程度に応じて採択を行った。

また、高等学校の教科用図書の採択については、県教育委員会が学校ごとに採択を行った。